

3 学校評価

(1) 学校の取り組みに係る自己評価 5段階で評価したのち、3段階 (A:できている・B:できていない・C:わからない) の人数割合を表示

基本方針	基本的方向	施策	取組	達成状況			<input type="checkbox"/> よくできている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> わからない <input type="checkbox"/> まあまあできている <input type="checkbox"/> できていない		取組状況や改善方針
				A	B	C			
「生きる力」を育む教育の推進	「確かな学力」の育成	学力向上の推進	1. 指導計画の作成及び観点別評価と指導の一体化	71.4%	20.0%	8.6%	71.4%	20.0%	<p>○新課程の導入により、同じ授業を受け持つ教員と連携して、評価の判断材料となる課題や教材を工夫している。</p> <p>○国際理解を深める教育は、目的を理解するための事前打ち合わせをしっかりとすることが必要。</p> <p>○AIタイムでは、SDGsに関連した内容を取り入れるなど、授業内容を例年よりは工夫できた。</p> <p>○今年度から、一人1台のデバイス所持が決められたことを受けて、少しでも多くの場面で効果的に活用できるよう工夫が必要。</p> <p>○生徒同士で問題を解決しようとする意識が育っている。</p> <p>○文化祭において、校外学習に関連させながら、テーマに沿った内容を充実させることができた。</p> <p>○これからも国際高校とさらに交流を深めていきたい。</p> <p>○体育大会やスポーツ大会で自主的に行動する場面が増えた。</p> <p>○コロナウィルスの対応について、クラスターの発生もなく、ほとんどの生徒が元気に登校できている。</p> <p>○部活動では、熱中症対策を徹底し、無理な活動は控えた。</p> <p>○登下校時に、立ち番等を行い交通ルールやルートの確認を行っている。</p> <p>○授業の復讐や、欠席の生徒に対応するために、授業後に板書やパワーポイントをClassiにアップしている。</p> <p>○仕事が多く煩雑化している。仕事の取捨選択が必要。各人の負担を減らすこともそうだが、全体としての負担を減らすことも必要。</p> <p>○情報セキュリティに対する各教員の意識を向上させる必要がある。</p> <p>○学年PTAの代表の方と連携を取り、情報の共有に努めている。クラスのようなすなどをClassiでアップした。</p> <p>○Classiの活用を、家庭と連携しながら、さらに普及させる必要がある。</p>
			2. 生徒の多様性に対応した授業	94.3%	5.7%	0.0%	94.3%	5.7%	
		国際理解を深める教育	3. 外部試験 (GTEC等) の活用	59.4%	15.6%	25.0%	59.4%	15.6%	
			4. AIタイムの充実	74.2%	3.2%	22.6%	74.2%	3.2%	
			5. アートマイル等、海外校との交流	56.7%	23.3%	20.0%	56.7%	23.3%	
		情報活用能力の育成	6. 教員がICT機器を用いて行う授業	65.7%	28.6%	5.7%	65.7%	28.6%	
			7. 生徒が主体的にICT機器を活用する授業	57.1%	37.1%	5.7%	57.1%	37.1%	
	「豊かな心」の育成	人間力の育成	8. 生徒会活動の活性化	71.9%	18.8%	9.4%	71.9%	18.8%	
			9. 生徒主体の文化祭	82.9%	8.6%	8.6%	82.9%	8.6%	
		体験活動の推進	10. 研修(修学)旅行等、校外学習の活性化	88.6%	8.6%	2.9%	88.6%	8.6%	
	「健やかな体」の育成	心・技・体の醸成	11. 生徒主体の体育大会・スポーツ大会	77.1%	20.0%	2.9%	77.1%	20.0%	
			12. 活動方針に基づいた部活動の実施	80.0%	14.3%	5.7%	80.0%	14.3%	
		健康教育・安全教育	13. 登下校等の安全確保	76.5%	20.6%	2.9%	76.5%	20.6%	
			14. WBGTを活用した熱中症対策	76.5%	17.6%	5.9%	76.5%	17.6%	
			15. 新型コロナウイルス感染症対策	85.7%	14.3%	0.0%	85.7%	14.3%	
	特別支援教育の推進	16. 多様な学びの充実	77.1%	22.9%	0.0%	77.1%	22.9%		
子どもたちの学びを支える環境の充実	教職員の資質・能力の向上	17. 校務支援システムの運用	54.3%	45.7%	0.0%	54.3%	45.7%		
		18. 定時退勤や業務効率化への取組	25.7%	71.4%	2.9%	25.7%	71.4%		
	学校の組織力の強化	19. 情報セキュリティ徹底、情報資産管理	57.1%	37.1%	5.7%	57.1%	37.1%		
		20. いじめアンケートによる早期発見・対応	88.6%	5.7%	5.7%	88.6%	5.7%		
	家庭と地域による学校と連携した教育の推進	21. PTAとの連携	74.3%	22.9%	2.9%	74.3%	22.9%		
		22. HPやClassiを活用した情報の発信	74.3%	22.9%	2.9%	74.3%	22.9%		
		23. 授業公開やオープンスクールの実施	77.1%	20.0%	2.9%	77.1%	20.0%		

(2) 兵庫県教職員資質向上指標による自己点検 5段階で評価したのち、3段階 (A:できている・B:できていない・C:わからない) の人数割合を表示

分野	資産	教員としての資質の向上に関する指標	A	B	C	<input type="checkbox"/> よくできている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> わからない <input type="checkbox"/> まあまあできている <input type="checkbox"/> できていない		[評価できる点]
学習指導	授業実践力 授業改善力	1. 学校教育目標や児童生徒の実態を踏まえた年間指導計画を作成し、計画的に授業を進めることができる。	68.6%	22.9%	8.6%	68.6%	22.9%	<p>○それぞれの教職員の取り組みが校内で共有され、ますます良いものになってほしい。</p> <p>○「生徒の多様性に対応した授業」の項目で、肯定的な回答が非常に多い。これは芦国ならではと思う。</p> <p>○コロナ禍で様々な制約を受け、台湾の学校とzoomで交流する等、工夫して実施できている。</p> <p>○「いじめアンケートによる早期発見・対応」の肯定的な回答が88.6%とかなり高い。見えない文化摩擦のようなものにアンテナを張り、敏感に対応できているのではないかと。</p> <p>○自己点検から、平素より教職員間でよく話し合い、チームとして生徒の育成に取り組んでいる様子が伺える。</p> <p>○日々の振り返りを実践し、常に良い教育を求めて、子供たちに真摯に向き合う様子が見て取れる。</p>
		2. 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。	77.1%	14.3%	8.6%	77.1%	14.3%	
		3. 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。	65.7%	25.7%	8.6%	65.7%	25.7%	
		4. 評価規準等に基づき、児童生徒の学習状況を把握・評価し、指導方法の改善につなげることができる。	77.1%	14.3%	8.6%	77.1%	14.3%	
生徒指導	集団を高める力	5. いじめ、不登校などの教育課題の緊急性や重要性を理解し、その予防・解決に取り組むことができる。	84.8%	15.2%	0.0%	84.8%	15.2%	<p>○自己点検から、平素より教職員間でよく話し合い、チームとして生徒の育成に取り組んでいる様子が伺える。</p> <p>○日々の振り返りを実践し、常に良い教育を求めて、子供たちに真摯に向き合う様子が見て取れる。</p>
		6. 学年・学級目標の実現に向け、学級経営やホームルーム計画の立案・実行・改善ができ、児童生徒が安心して過ごせる学級づくりに取り組むことができる。	54.5%	15.2%	30.3%	54.5%	15.2%	
	一人一人の能力を高める力	7. 児童生徒との適切な距離を保ちながら、生活背景や内面の理解に努め、カウンセリングマインドとストレスマネジメントに基づく指導を行うことができる。	88.2%	8.8%	2.9%	88.2%	8.8%	
チームで組織を担う体制作り	協働性 同僚性	8. 「教職員の勤務時間適正化推進プラン」をもち、ワーク・ライフ・バランスや勤務時間の適正化を意識しながら、計画的に仕事を進めることができる。	34.3%	65.7%	0.0%	34.3%	65.7%	<p>[改善する点]</p> <p>○「国際理解を深める教育」の項目に「わからない」が多いが、これらの取組は多文化共生を目指すこの学校の中心となる授業であり、充実させてほしい。</p> <p>○「国際理解を深める教育」の項目について、先生方の自己評価が厳しいように感じる。やはり本校のような学校なのでまだまだやらなければならないという思いがおりなのだろうか、十分に取組んでいると思う。外部試験の活用等、容易に改善が期待できることから取組めばどうか。</p> <p>○教員が自分の時間を犠牲にしながら、教育を維持している様子が見える。職務の最適化を考えていく必要がある。</p> <p>○多文化共生を目標としてきた本校の教育内容に時代が追いついてきた感がある。本校では20年前から取り組んでいる。もっと広く発信してほしい。</p> <p>○授業改善の項目に、本校の設置目的や教育目標につながる項目を入れてはどうか。育成したい生徒像について、前向きな議論に繋がるのでは。</p>
		9. 児童生徒への指導等に関して、同僚・先輩や管理職等に相談し、指導に生かすことができる。	94.3%	5.7%	0.0%	94.3%	5.7%	
	組織的 対応力	10. 校内における自分の役割を認識し、校務分掌を的確かつ効率的に遂行できる。	80.0%	20.0%	0.0%	80.0%	20.0%	
11. 校内の情報を適切に管理し、取り扱うことができる。		82.9%	17.1%	0.0%	82.9%	17.1%		
12. 学校安全のための危機管理を理解し、事件や事故、トラブルに適切に対応することができる。		77.1%	22.9%	0.0%	77.1%	22.9%		
資質 自立性 を高める	自己管理 能力 変革力	13. 日頃から、ストレスマネジメントに努めるとともに、教員として自覚ある行動をとることができる。	85.7%	14.3%	0.0%	85.7%	14.3%	
		14. 適切な言動を心がけ、児童生徒や保護者等からの信頼確保に努めている。	91.4%	8.6%	0.0%	91.4%	8.6%	
		15. 日々の実践等を振り返り、自らの教育活動の工夫・改善に努めている。	94.3%	5.7%	0.0%	94.3%	5.7%	

3 学校関係者評価 (総合)